



株式会社ビジネスブレイン太田昭和

[ 東証プライム市場 証券コード:9658 ]

# 個人投資家向け会社説明会

2026.2.20

1. 会社紹介
2. 数字で見るBBS
3. BBSの目指すところ
4. 2025年度 第3四半期ハイライト

# — 会社紹介



社名	<b>株式会社ビジネスブレイン太田昭和</b> (略称BBS)
英文名	<b>Business Brain Showa-Ota Inc.</b>
本社	東京都港区西新橋1-1-1 日比谷フォートタワー15階
事業拠点	東京、大阪、名古屋、浜松、福岡、札幌、新潟、熊本、鹿児島、那覇、名護、 タイ・バンコク、ベトナム・ホーチミン、シンガポール
代表者	代表取締役社長 小宮 一浩
創立	1967年 8月
資本金	22億3,349万円
発行済株式数	11,615,200株
上場市場	東証プライム (証券コード : 9658)
従業員数	単体 / 927名 連結 / 2,382名*

\* BBSグループ 連結子会社13社含む (2025年 3月末現在)

BBSグループネットワークURL : <https://www.bbs.co.jp/corporate/group/>

# 社名の由来

創業者 山崎甲子士は、1951年（昭和26年） 浜松市で公認会計士事務所を開業。 1967年（昭和42年）8月 コンサルティング及びシステム開発を事業を行う当社を設立しました。 当社の歴史は、日本の会計・監査制度の歴史と重なります。

## ■ 会社沿革

1967年 8月 (株)中部ファコムセンターとして、浜松市にて創業	
1973年 1月 (株)ビジネスブレイン昭和に商号変更	1969年12月 創業者の山崎甲子士は、他の公認会計士とともに昭和監査法人を設立。 当社は、昭和監査法人のグループ会社として、(株)ビジネスブレイン昭和に商号変更した。
1986年10月 (株)ビジネスブレイン太田昭和に商号変更	
1991年11月 株式店頭登録	1985年10月 昭和監査法人は、監査法人太田哲三事務所と合併し、太田昭和監査法人*を設立。山崎甲子士は、理事長に就任する。 当社は、昭和監査法人の合併により、商号を(株)ビジネスブレイン太田昭和に変更し、現在に至る。 なお、監査法人との資本関係は、その後の環境変化により、現在解消されております。
2014年11月 東証第二部へ市場変更	
2015年 8月 東証第一部（現プライム市場）へ変更	

\* 太田昭和監査法人はその後も合併行い、現在、EY新日本有限責任監査法人となっております。

# BBSの役割

企業のバックオフィス課題の解決をめざす「総合バックオフィスサポーター」

社員の高齢化

ワークスタイルの変化

業務のブラックボックス化

属人化リスク

人材採用難

BCP対策

不正対策

内部統制強化

etc.

拡大するバックオフィス課題を解決

## 総合バックオフィスサポーター

### ? WHY - 存在意義

企業が持続的に成長していくために、限られたリソースを「本業」に集中させることが不可欠です。BBSは、企業が本来の価値創出に集中できる環境を実現するために存在します。

### ! HOW - 解決アプローチ

コンサルティング・システム開発・BPOの3大ソリューションを一体で提供し、業務設計から実装、運用まで伴走しながらバックオフィス業務を最適化します。

# 課題解決のための仕組み

バックオフィスの専門家による3つの仕組みで、課題解決を“成果が出る形”へ

3大ソリューションの  
シームレスな提供



会計の知見と経験を  
有する専門家集団



伴走型支援による  
成果の創出



# 課題解決のための仕組み① 3大ソリューションのシームレスな提供

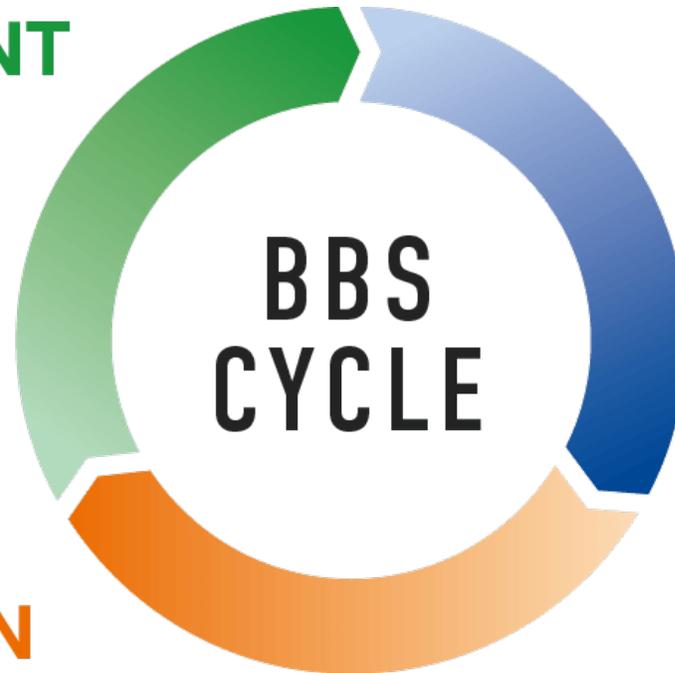
幅広い「バックオフィス業務」に対し、3大ソリューションの一体提供でまとめて最適化

## MANAGEMENT SERVICE (BPO)

業務の定着化、  
専門家によるBPO、  
業務のモニタリング

## SYSTEM INTEGRATION

解決案の具体化



### サイクルで提供することのメリット

- ✓ 特定のソリューションにこだわらない最適なソリューションを選択し提案
- ✓ 後続工程を見据えた現実的な提案
- ✓ ソリューション間のシームレスな連携

## CONSULTING

お客様課題の把握、  
解決案の提示

## 課題解決のための仕組み② 会計の知見と経験を有する専門家集団

会計の知見と経験を軸に、経営まで見据えた統合コンサルティングを提供

**先を読む経営 と今を知る会計 をひとつに。**



- ✓ 会計の専門家である公認会計士が起業
- ✓ 企業のバックオフィスの課題解決のための「統合コンサルティングサービス」を提供
- ✓ 公認会計士など有資格者が多く所属

BBS内の有資格者数		(2025年3月末現在)	
公認会計士	38名	税理士	7名
基本情報技術者 (FE)	252名	社会保険労務士	3名
		応用情報技術者 (AP)	74名

## 課題解決のための仕組み③ 伴走型支援による成果の創出

日本企業の実情を理解した伴走型支援によって、課題解決を成果につなげる



- ✓ 日本発のコンサルティングで、日本の社会と企業に合わせた伴走型支援

 ACT-Horizon

 Biz  
ビズインテグラル

 mcframe

 ACT-iAP

 STRAVIS™

 BizForecast®

- ✓ 50年を超える実績と強固な顧客基盤
- ✓ 売上5,000億円前後の中堅会社をターゲット = 大手との  
住み分け

# 経営理念

BBSのすべての事業と支援の出発点

**1** お客様の企業価値の向上を通して、社会に貢献すること

---

**2** お客様の発展の原動力となること

---

**3** お客様の利益増加に貢献すること

# — 数字で見るBBS

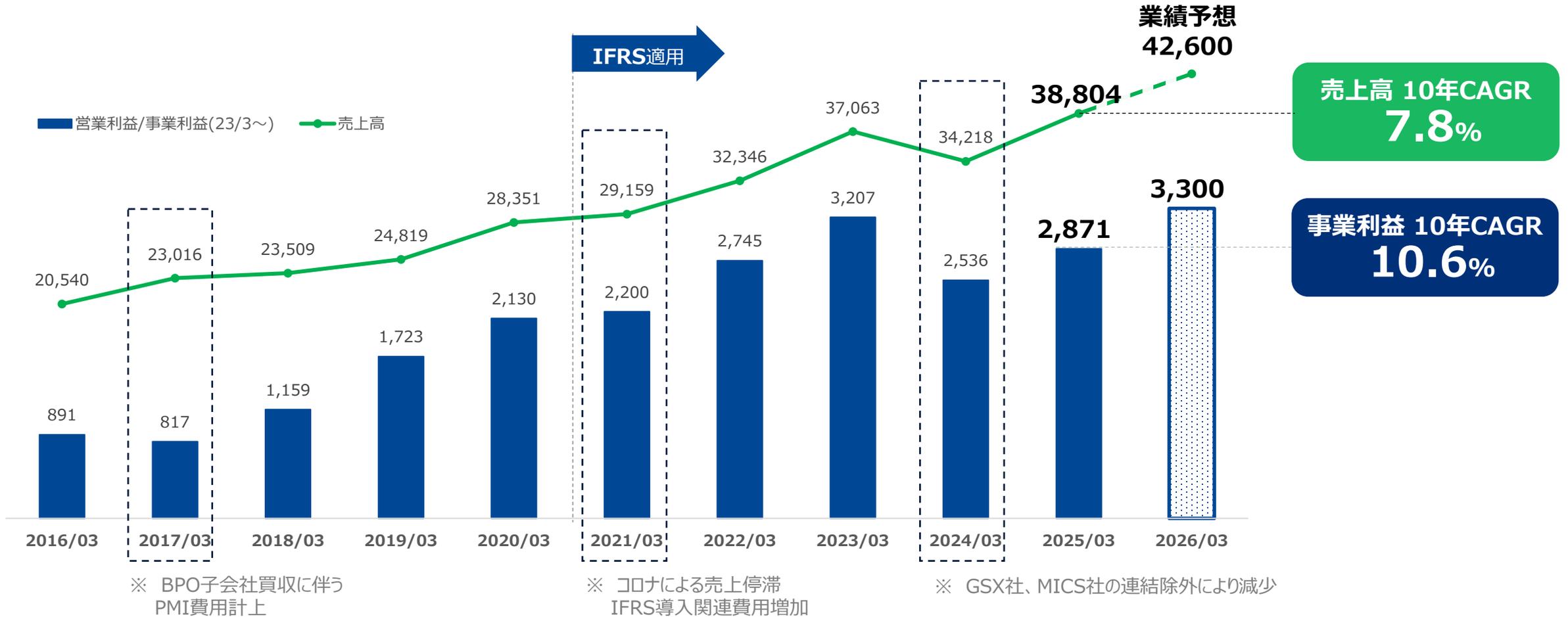


2

# 損益ハイライト

最近10年間の売上収益・営業/事業利益

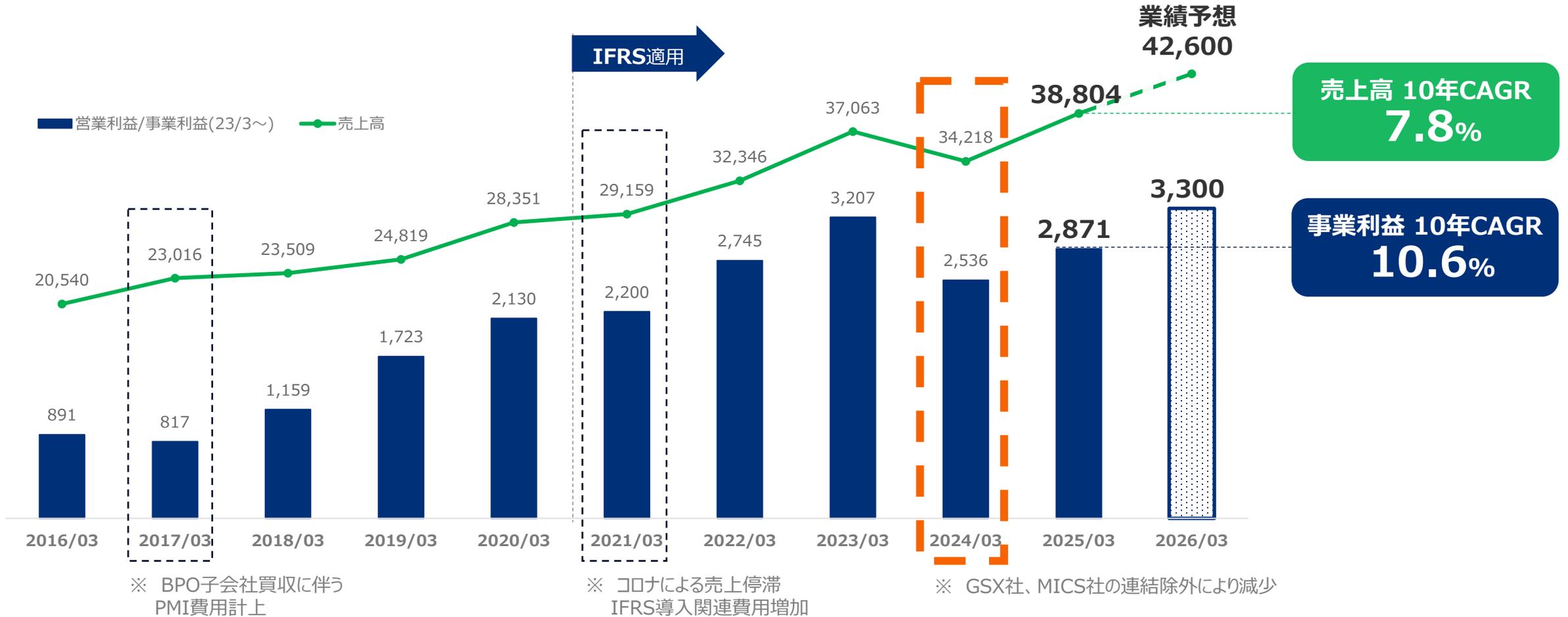
単位：百万円



# 損益ハイライト

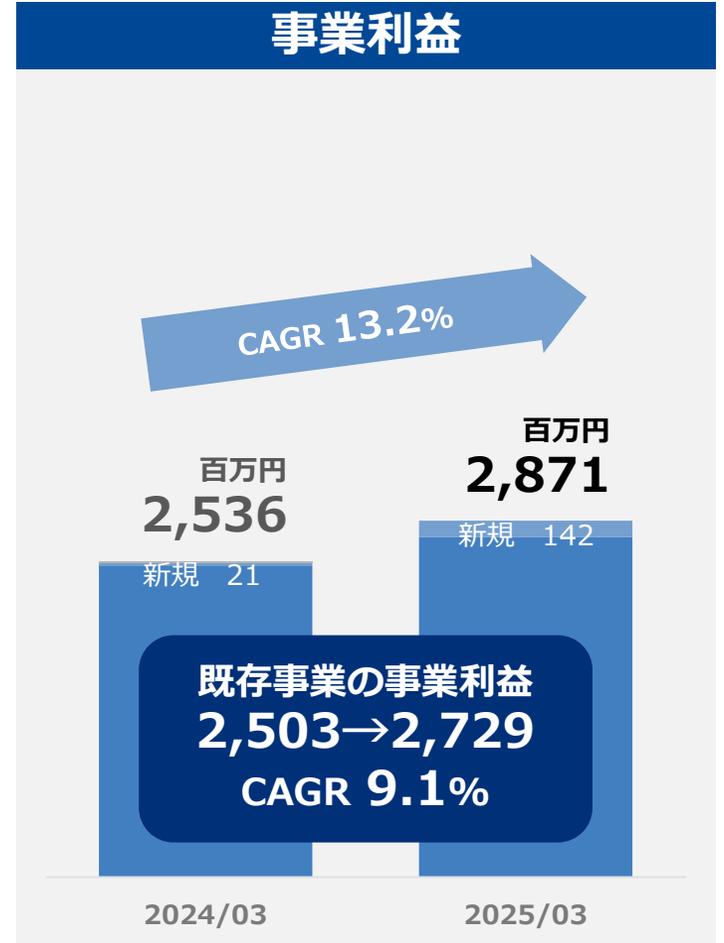
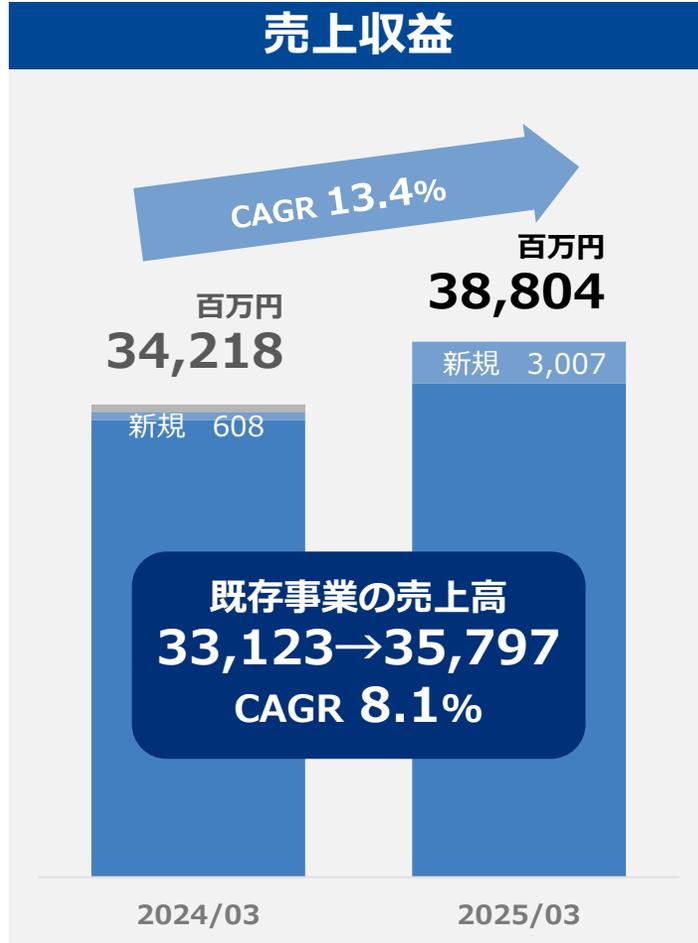
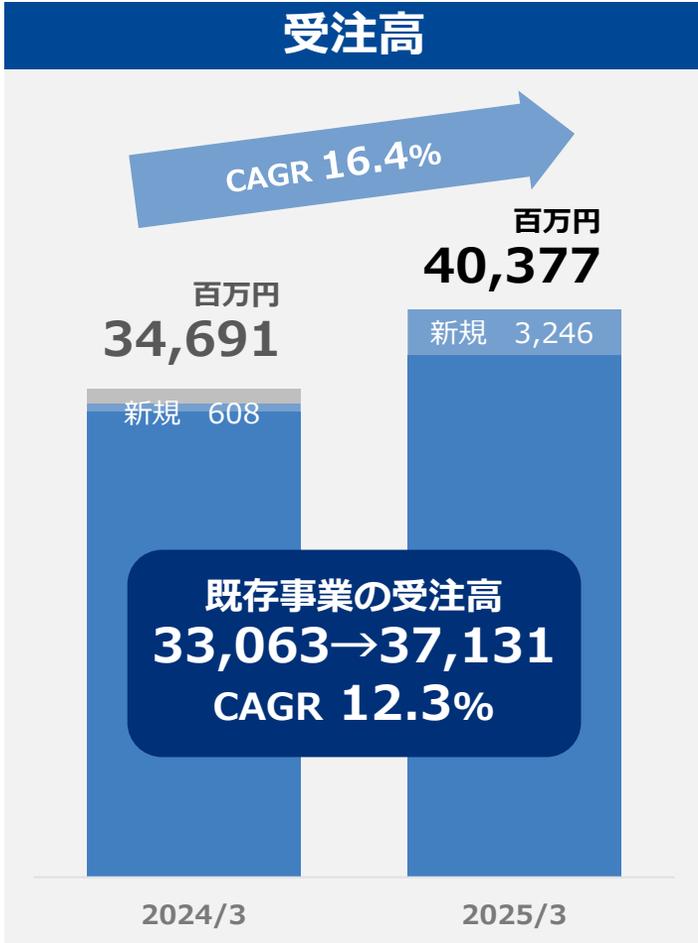
最近10年間の売上収益・営業/事業利益

単位：百万円



# 2024年度ハイライト

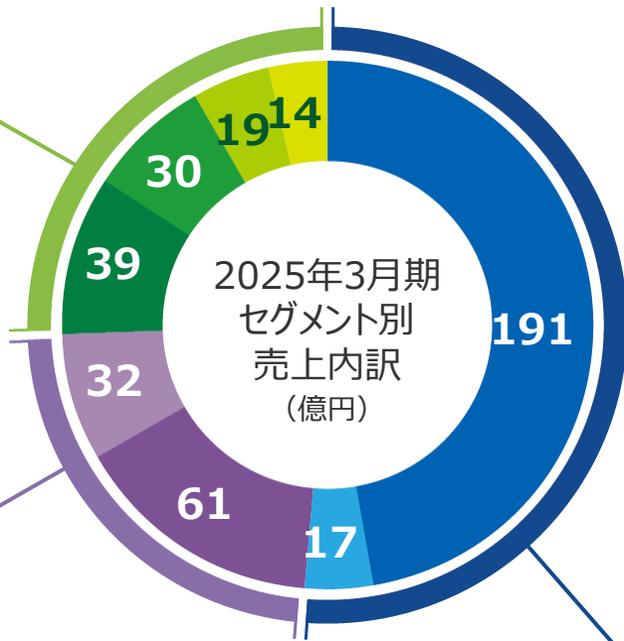
前年同期を大幅に上回る実績を達成～新規取得事業のみならず、既存事業も大きく伸長



# 事業内容

## 92 BPO&マネージドサービス

- 39 人事給与BPO
- 30 経理BPO
- 19 オンサイトBPO
- 14 マネージドサービス



## 93 SES共創ビジネス

- 61 金融ビジネス
- 32 産業ビジネス

## 208 コンサルティング・システム開発

- 191 経営会計コンサルティング&ソリューション
- 17 PLMソリューション

コンサルティング・システム開発

### 経営会計コンサルティング&ソリューション

- ・経営会計および関連領域におけるコンサルティングとシステム開発・導入支援・保守
- ・スクラッチ開発とパッケージ導入があり、取り扱いソリューションは、ACTシリーズ（自社ブランド）、Bizf、mcframe、楽々Frameworkなど

### PLMソリューション

- ・CADアドオン開発、BOM/PDM開発、保守
- ・自社製品PLMconsoleの販売、導入

SES共創ビジネス

### 金融ビジネス

- ・証券会社向け受託開発（準委任型）、SE派遣
- ・自社開発ファンドラップパッケージの販売、導入

### 産業ビジネス

- ・受託開発（準委任型）、SE派遣など

BPO&マネージドサービス

### 人事給与BPO

- ・給与計算など人事関連のセンター型アウトソーシングサービス
- ・自社システム（Bulas、Win5）を活用した受託計算

### 経理BPO

- ・経理関連の業務コンサルティングおよび、センター型アウトソーシングサービス
- ・決算書類、連結作成など専門性の高い業務への対応

### オンサイトBPO

- ・コールセンターオペレーター等の派遣、人材紹介、コールセンターの運用

### マネージドサービス

- ・パッケージ製品ベンダー・提供業者向け、製品保守および業務アウトソーシングサービス

# グループの総合力で経営課題を解決

3大ソリューションを提供するBBSグループ 14社

 **BBS 株式会社ビジネスブレイン太田昭和**

## コンサルティング・システム開発

### (株) BSC

基幹業務システムのコンサルティングや構築、運用 などを提供

### (株) フレスコ

エンジニアリング系のCAD/PDMシステム開発を提供

### グローバルセキュリティエキスパート (株)

情報セキュリティに関するコンサルティングおよびソリューションを提供

### (株) PLMジャパン

製造業を中心としたPLM（製品ライフサイクル管理）ソリューションを提供

### BBS (Thailand) Co., Ltd.

東南アジアの日本企業現地法人へ業務改善コンサルティングサービスを提供

## SES共創ビジネス

### (株)ファイナンシャルブレインシステムズ

証券・金融分野を中心としたシステム開発・ITソリューションを提供

### (株)ジョイワークス

システム開発およびアプリ開発、Web制作、インフラ構築などを提供

### (株)トゥインクル

ヒューマンサポート（企業の人材支援）やシステムサポート（ヘルプデスク）、コールサポート（BPOコールセンター）などのサービスを提供

## BPO&マネージドサービス

### (株) BBSマネージドサービス

マネージドサービス事業、ITソフトウェア開発事業を提供

### (株) BBSアウトソーシング熊本

幅広い業務分野で業務改革・BPOスペシャリストによる「High ValueBPO®」（専門性の高い業務運営の支援）を提供

### (株) EPコンサルティングサービス

経理・人事・総務のアウトソーシングサービスを提供。  
グループに税理士法人EOS、社会保険労務士法人EOS、行政書士法人EOSなどの専門法人あり

### (株)テクノウェアシンク

ホスピタリティ精神でお客様のビジネスを支えるオンサイトBPO、データエントリーサービスを提供

### BUSINESS BRAIN SHOWA- OTA VIETNAM CO., LTD.

日本語・英語が堪能で優秀な現地スタッフによるBPOサービス、および日本企業現地法人への業務改革やシステム導入支援などのコンサルティングサービスを提供

# お客様を支える国内外の主要ネットワーク

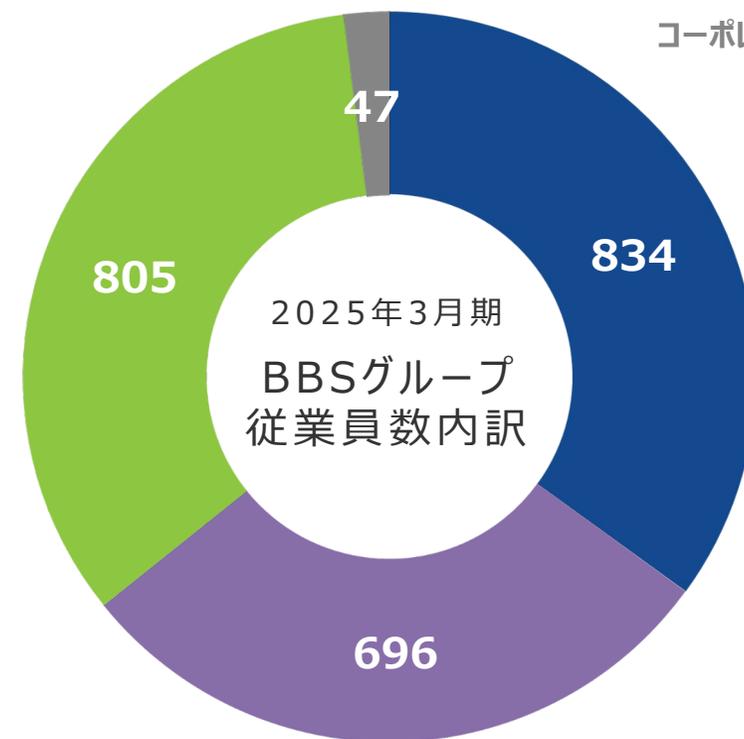
国内外に展開する拠点と人財によって、安定した支援体制を構築

- **事業拠点** 東京、大阪、名古屋、浜松、福岡、札幌、新潟、熊本、鹿児島、那覇、名護、タイ・バンコク、ベトナム・ホーチミン、シンガポール



## ■ BBSグループ従業員数

- コンサルティング・システム開発 834 名
- SES共創ビジネス 696 名
- BPO&マネージドサービス 805 名
- コーポレート部門 47 名



**2,382** 名\*

(2025年3月末現在)  
\* BBSグループ 連結子会社13社含む

# 貸借対照表 資産

(百万円)	24/3期	25/3期	25/3期 構成比
<b>流動資産</b>	<b>18,013</b>	<b>18,251</b>	<b>40%</b>
現金及び現金同等物	9,906	9,908	22%
営業債権及びその他の債権	5,239	5,093	11%
契約資産	978	1,911	4%
その他の金融資産	1,109	316	1%
その他の流動資産	781	1,023	2%
<b>非流動資産</b>	<b>26,791</b>	<b>27,072</b>	<b>60%</b>
有形固定資産	682	625	1%
使用権資産	2,716	2,628	6%
のれん	2,064	2,159	5%
無形資産	1,021	1,000	2%
持分法投資	16,736	17,073	38%
その他の金融資産	2,840	2,909	6%
その他の非流動資産	732	678	1%
<b>資産合計</b>	<b>44,804</b>	<b>45,323</b>	<b>100%</b>

● 運転資金として、50億円程度  
他は、成長投資に活用

● 主として、日比谷本社オフィス賃貸にかかる  
使用権資産

● トウインクル社取得にかかる  
のれん 17億円他

● 主として、GSX社の評価額

# 貸借対照表 資産

(百万円)	24/3期	25/3期	25/3期 構成比
<b>流動資産</b>	<b>18,013</b>	<b>18,251</b>	<b>40%</b>
現金及び現金同等物	9,906	9,908	22%
営業債権及びその他の債権	5,239	5,093	11%
契約資産	978	1,911	4%
その他の金融資産	1,109	316	1%
その他の流動資産	781	1,023	2%
<b>非流動資産</b>	<b>26,791</b>	<b>27,072</b>	<b>60%</b>
有形固定資産	682	625	1%
使用権資産	2,716	2,628	6%
のれん	2,064	2,159	5%
無形資産	1,021	1,000	2%
持分法投資	16,736	17,073	38%
その他の金融資産	2,840	2,909	6%
その他の非流動資産	732	678	1%
<b>資産合計</b>	<b>44,804</b>	<b>45,323</b>	<b>100%</b>

● 運転資金として、50億円程度  
他は、成長投資に活用

● 主として、日比谷本社オフィス賃貸にかかる  
使用権資産

● トウインクル社取得にかかる  
のれん 17億円他

● 主として、GSX社の評価額

# 貸借対照表 資産

(百万円)	24/3期	25/3期	25/3期 構成比
<b>流動資産</b>	<b>18,013</b>	<b>18,251</b>	<b>40%</b>
現金及び現金同等物	9,906	9,908	22%
営業債権及びその他の債権	5,239	5,093	11%
契約資産	978	1,911	4%
その他の金融資産	1,109	316	1%
その他の流動資産	781	1,023	2%
<b>非流動資産</b>	<b>26,791</b>	<b>27,072</b>	<b>60%</b>
有形固定資産	682	625	1%
使用権資産	2,716	2,628	6%
のれん	2,064	2,159	5%
無形資産	1,021	1,000	2%
持分法投資	16,736	17,073	38%
その他の金融資産	2,840	2,909	6%
その他の非流動資産	732	678	1%
<b>資産合計</b>	<b>44,804</b>	<b>45,323</b>	<b>100%</b>

● 運転資金として、50億円程度  
他は、成長投資に活用

● 主として、日比谷本社オフィス賃貸にかかる  
使用権資産

● トウインクル社取得にかかる  
のれん 17億円他

● 主として、GSX社の評価額

# 貸借対照表 資産

(百万円)	24/3期	25/3期	25/3期 構成比
<b>流動資産</b>	<b>18,013</b>	<b>18,251</b>	<b>40%</b>
現金及び現金同等物	9,906	9,908	22%
営業債権及びその他の債権	5,239	5,093	11%
契約資産	978	1,911	4%
その他の金融資産	1,109	316	1%
その他の流動資産	781	1,023	2%
<b>非流動資産</b>	<b>26,791</b>	<b>27,072</b>	<b>60%</b>
有形固定資産	682	625	1%
使用権資産	2,716	2,628	6%
のれん	2,064	2,159	5%
無形資産	1,021	1,000	2%
持分法投資	16,736	17,073	38%
その他の金融資産	2,840	2,909	6%
その他の非流動資産	732	678	1%
<b>資産合計</b>	<b>44,804</b>	<b>45,323</b>	<b>100%</b>

● 運転資金として、50億円程度  
他は、成長投資に活用

● 主として、日比谷本社オフィス賃貸にかかる  
使用権資産

● トウインクル社取得にかかる  
のれん 17億円他

● 主として、GSX社の評価額

# 貸借対照表 資産

(百万円)	24/3期	25/3期	25/3期 構成比
<b>流動資産</b>	<b>18,013</b>	<b>18,251</b>	<b>40%</b>
現金及び現金同等物	9,906	9,908	22%
営業債権及びその他の債権	5,239	5,093	11%
契約資産	978	1,911	4%
その他の金融資産	1,109	316	1%
その他の流動資産	781	1,023	2%
<b>非流動資産</b>	<b>26,791</b>	<b>27,072</b>	<b>60%</b>
有形固定資産	682	625	1%
使用権資産	2,716	2,628	6%
のれん	2,064	2,159	5%
無形資産	1,021	1,000	2%
持分法投資	16,736	17,073	38%
その他の金融資産	2,840	2,909	6%
その他の非流動資産	732	678	1%
<b>資産合計</b>	<b>44,804</b>	<b>45,323</b>	<b>100%</b>

● 運転資金として、50億円程度  
他は、成長投資に活用

● 主として、日比谷本社オフィス賃貸にかかる  
使用権資産

● トウインクル社取得にかかる  
のれん 17億円他

● 主として、GSX社の評価額

# 貸借対照表 負債・資本

(百万円)	24/3期	25/3期	25/3期 構成比
<b>流動負債</b>	<b>8,048</b>	<b>7,940</b>	<b>18%</b>
リース負債	747	808	2%
営業債務及びその他の債務	2,621	2,116	5%
その他の流動負債	4,680	5,016	11%
<b>非流動負債</b>	<b>7,357</b>	<b>7,770</b>	<b>17%</b>
リース負債	2,009	1,884	4%
引当金	308	513	1%
繰延税金負債	4,133	4,224	9%
その他の非流動負債	907	1,149	3%
<b>負債合計</b>	<b>15,405</b>	<b>15,710</b>	<b>35%</b>
親会社の所有者に帰属する持分	28,962	29,139	64%
非支配持分	437	474	1%
資本合計	29,399	29,613	65%
<b>負債及び資本合計</b>	<b>44,804</b>	<b>45,323</b>	<b>100%</b>

未払法人税・消費税、未払賞与、未払有給休暇費用等

使用权資産見合い

GSX社株式時価評価にかかる繰延税金負債他

# 貸借対照表 負債・資本

(百万円)	24/3期	25/3期	25/3期 構成比
<b>流動負債</b>	<b>8,048</b>	<b>7,940</b>	<b>18%</b>
リース負債	747	808	2%
営業債務及びその他の債務	2,621	2,116	5%
その他の流動負債	4,680	5,016	11%
<b>非流動負債</b>	<b>7,357</b>	<b>7,770</b>	<b>17%</b>
リース負債	2,009	1,884	4%
引当金	308	513	1%
繰延税金負債	4,133	4,224	9%
その他の非流動負債	907	1,149	3%
<b>負債合計</b>	<b>15,405</b>	<b>15,710</b>	<b>35%</b>
親会社の所有者に帰属する持分	28,962	29,139	64%
非支配持分	437	474	1%
資本合計	29,399	29,613	65%
<b>負債及び資本合計</b>	<b>44,804</b>	<b>45,323</b>	<b>100%</b>

未払法人税・消費税、未払賞与、未払有給休暇費用等

使用权資産見合い

GSX社株式時価評価にかかる繰延税金負債他

# 貸借対照表 負債・資本

(百万円)	24/3期	25/3期	25/3期 構成比
<b>流動負債</b>	<b>8,048</b>	<b>7,940</b>	<b>18%</b>
リース負債	747	808	2%
営業債務及びその他の債務	2,621	2,116	5%
その他の流動負債	4,680	5,016	11%
<b>非流動負債</b>	<b>7,357</b>	<b>7,770</b>	<b>17%</b>
リース負債	2,009	1,884	4%
引当金	308	513	1%
繰延税金負債	4,133	4,224	9%
その他の非流動負債	907	1,149	3%
<b>負債合計</b>	<b>15,405</b>	<b>15,710</b>	<b>35%</b>
親会社の所有者に帰属する持分	28,962	29,139	64%
非支配持分	437	474	1%
資本合計	29,399	29,613	65%
<b>負債及び資本合計</b>	<b>44,804</b>	<b>45,323</b>	<b>100%</b>

未払法人税・消費税、未払賞与、未払有給休暇費用等

使用权資産見合い

GSX社株式時価評価にかかる繰延税金負債他

# 貸借対照表 負債・資本

(百万円)	24/3期	25/3期	25/3期 構成比
<b>流動負債</b>	<b>8,048</b>	<b>7,940</b>	<b>18%</b>
リース負債	747	808	2%
営業債務及びその他の債務	2,621	2,116	5%
その他の流動負債	4,680	5,016	11%
<b>非流動負債</b>	<b>7,357</b>	<b>7,770</b>	<b>17%</b>
リース負債	2,009	1,884	4%
引当金	308	513	1%
繰延税金負債	4,133	4,224	9%
その他の非流動負債	907	1,149	3%
<b>負債合計</b>	<b>15,405</b>	<b>15,710</b>	<b>35%</b>
親会社の所有者に帰属する持分	28,962	29,139	64%
非支配持分	437	474	1%
資本合計	29,399	29,613	65%
<b>負債及び資本合計</b>	<b>44,804</b>	<b>45,323</b>	<b>100%</b>

未払法人税・消費税、未払賞与、未払有給休暇費用等

使用权資産見合い

GSX社株式時価評価にかかる繰延税金負債他

# 配当方針

株主資本配当率（DOE）の5%を基本とする配当方針

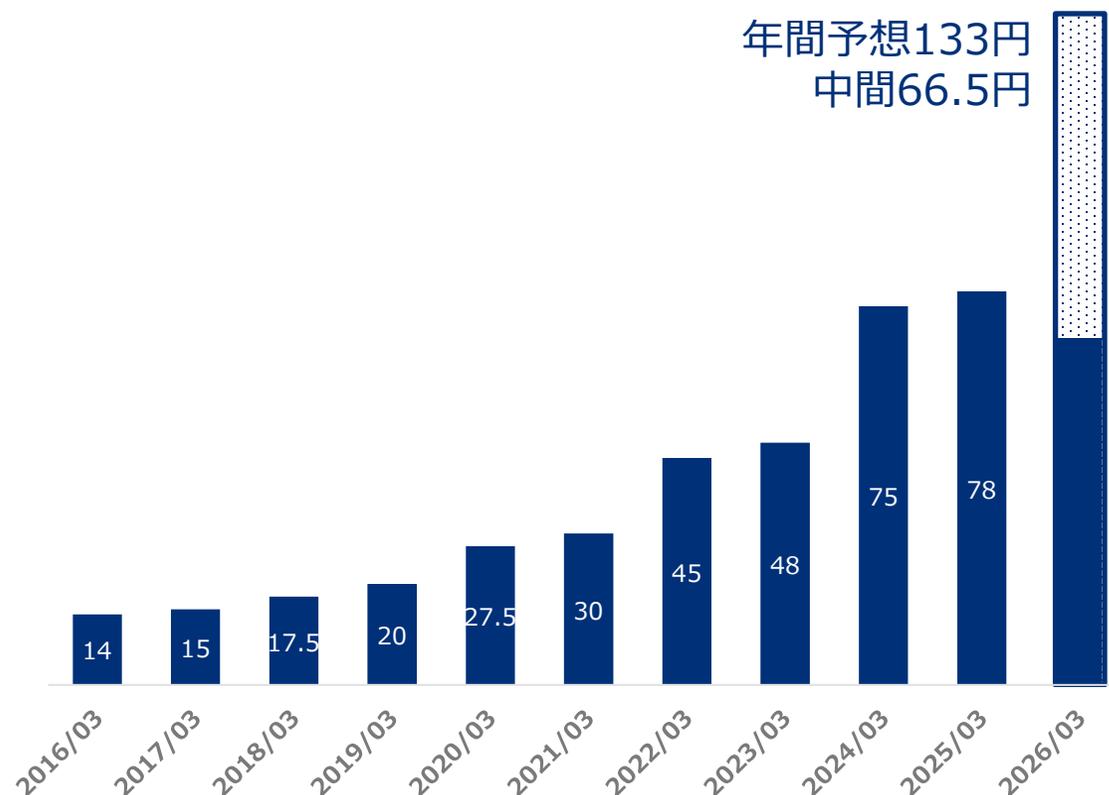
中間配当は、1株当たり66.5円（対当初予想29.5円増配）、年間配当は1株当たり133円（対当初予想44円増配）を予定

## ■ 配当方針（2025年度～）

当社は創業以来一貫して、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと考えております。利益配分につきましては、株主の皆様への安定的な利益還元と成長のための内部留保を総合的に勘案して、**株主資本配当率（DOE\*）の5%**を基本に実施する方針であります。

\*DOE = 年間配当額 ÷ (親会社の所有者に帰属する持分合計 - その他の資本の構成要素)

## ■ 配当の推移



# 株主優待制度の見直し

- 更なる個人株主の獲得、既存個人株主の保有株数増加を通じ株式流通を活性化
- 積極的な還元による株式市場におけるブランドの強化

## ■ 変更内容（2025年度～）

保有株数	変更前	変更後
100株～200株未満	QUOカード 1,000円相当	QUOカード 3,000円相当
200株～300株未満	QUOカード 2,000円相当	QUOカード 5,000円相当
300株以上		

- 継続保有期間が1年を超えた株主が対象
- 2026年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主から変更



# サステナビリティ

単に業績だけではなく、脱炭素社会への取り組みも重要な経営課題として認識し、積極的に取り組んでいる

## ■ グローバルな評価機関であるCDPでスコア「B」を獲得

スコア			
Business Brain Showa-ota Inc. 2025			
総合スコア			
スコアの一般公開	 気候変動	 フォレスト	 ウォーター
非公開 貴組織がサプライチェーンメンバーまたは キャピタルマーケット署名金融機関より 回答要請を受けている場合、要請元 はこれらのスコアにアクセスできます。	<b>B</b>	-	-
公開 CDPウェブサイト上に、貴組織の詳細が表示 されます。	<b>B</b>	-	-

CDPは、企業や自治体向けのグローバル規模の環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体です。

BBSグループは、CDPが行う気候変動に関する質問書に回答し、対応状況の管理・改善に取り組んでいます。

# 株価推移

2016年1月～2025年12月の10年間で株価は7.0倍に  
TOPIXの2.2倍に対し、大きく成長

## ■ 最近10年間の株価



10年間で  
7.0倍

# — BBSの目指すところ



3

# 経営方針

創業者・山崎甲子士のことば

## 八ヶ岳経営を実践する



単品のみ売っていると、それが売れなくなったら先行き真っ暗となる。八ヶ岳のように複数の事業を持っていれば、1つの事業の業績が悪化しても、ほかの事業で経営全体への悪影響を最小にすることができる。

また、各事業部門が独立採算で業績向上に努めるとともに、事業相互の協業によって相乗効果を上げることも重要である。創業者は、景気の波などで業績が悪化することは皆無ではないため、八ヶ岳経営が必要であると説いた。

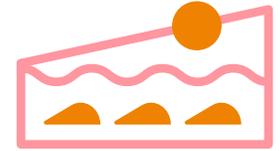
## 波乗り経営で半歩先に行く



上手に波乗りするコツは、波頭の少し後ろに乗ること。波頭の先端では倒れてしまい、後ろすぎると乗ることができない。

経営も同様であり、競争に打ち勝つためには、常に時代の最先端に行く必要があるが、進みすぎると社会やお客様に受け入れてもらえない。社会環境や相手の状況を考え、半歩先に行くことが重要であると創業者の言葉。

## ケーキを売る



ケーキの主な原材料は、小麦粉と砂糖。小麦からつくられた小麦粉とサトウキビからつくられた砂糖を混ぜて焼き、クリームや果物でデコレーションしてケーキは完成する。ケーキの値段は、原材料の合計金額をはるかに上回る。

これは、ケーキの製造過程で価値を加えたからであり、顧客はその価値を認めて購入する。BBSグループも、多様なサービスを組み合わせ、他社に真似できない高付加価値サービスを提供するという意思を示した言葉。

# BBSグループの各事業におけるマーケット動向

«2026年度予測»

## BPO市場

5兆2,159億円

CAGR 2.7%

(出典) 矢野経済研究所  
2023-2024 BPO市場の実態と展望

## SI市場

17兆4,595億円

CAGR 3.4%

(出典) 富士キメラ総研  
「2023 クラウドコンピューティングの現状と将来展望 市場編／ベンダー戦略編」



## コンサルティング市場

8,732億円

CAGR 8.8%

(出典) <https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ49137922>

## SaaS市場

1兆9,449億円

CAGR 12.7%

(出典) 富士キメラ総研  
ソフトウェアビジネス新市場2023年版

# Goal2030 - BBSグループの長期ビジョン -

BBSグループが目指すゴールとバリュー

**B** 企業の総合バックオフィスサポーター  
Back Office Comprehensive Supporter

**B** 新しい働き方・技術に適した「新しい経営」  
Become a new management partner

**S** サステナビリティ経営・人財強化  
Sustainability Management / Strengthening Human Resources

2020年度実績

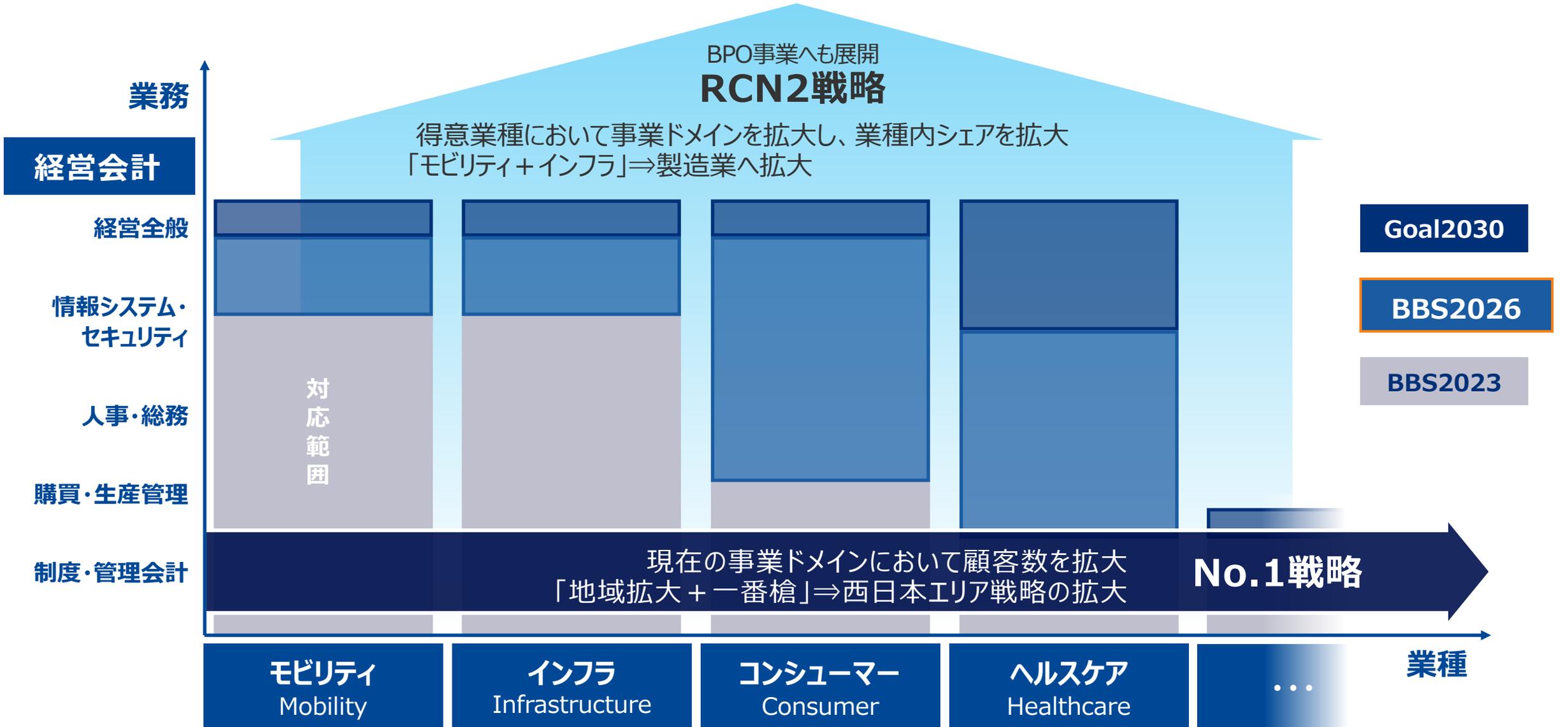
売上 291 億円  
利益 24 億円



2030年度

売上 1,000 億円  
利益 100 億円

# BBS2026における2つの戦略



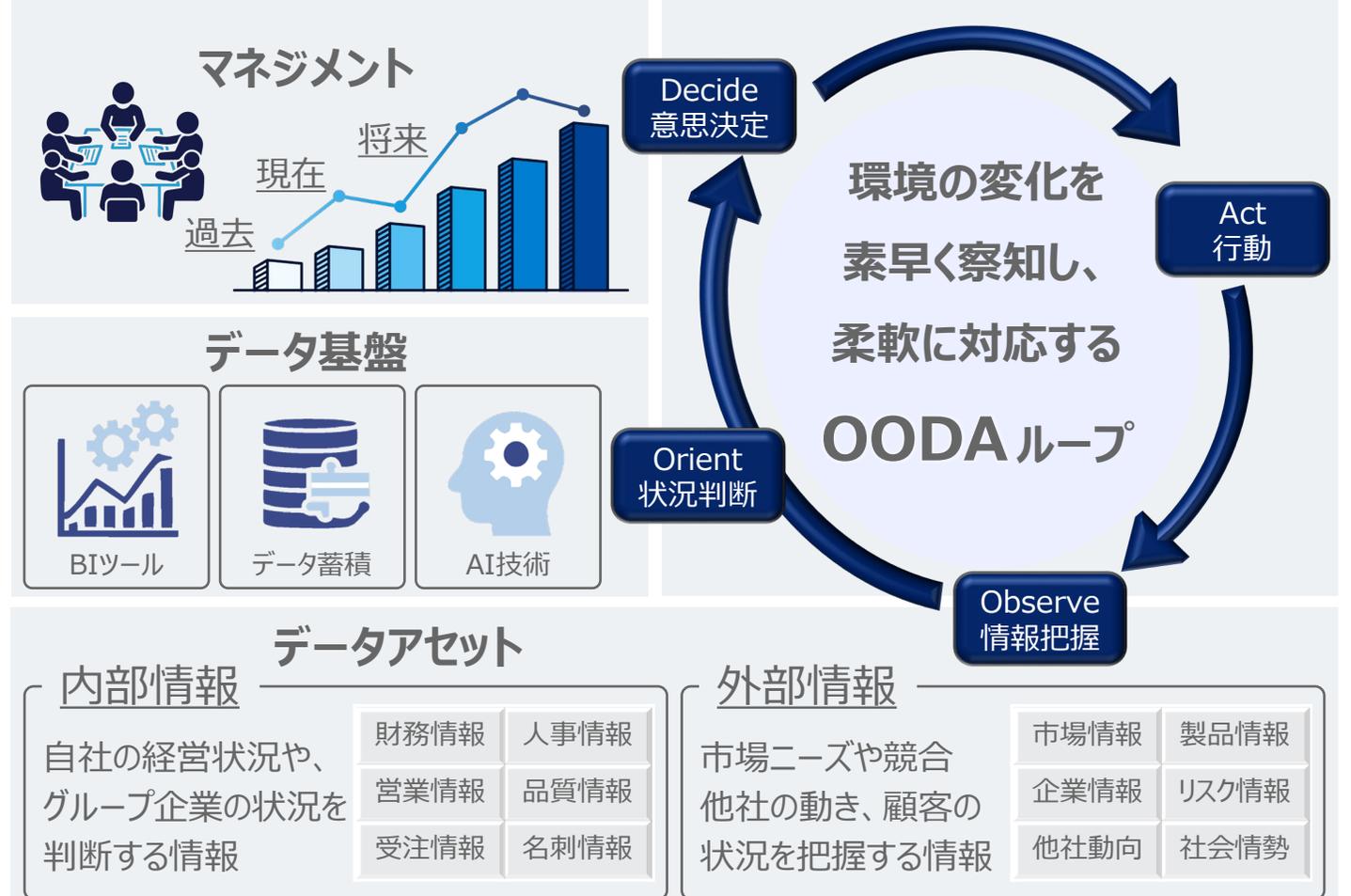
# 意思決定におけるデータドリブン経営の重要性

変化が激しく、不確実性が増す現在、自社のビジネスを取り巻く状況の変化をいち早く察知することが重要である。

## 意思決定の現状と課題

現状	課題
管理業務に 時間がかかる	意思決定に 時間がかかる
部門ごとに異なる データ集計方法	意思決定プロセス と質のばらつき
各種システムから データを集計する のが手間	各種データを統合 するシステムが 存在しない

## 解決策としてのデータドリブン経営



# AIハッカソン2025

BBSGr社員から応募されたアイデアをもとに、合宿でアプリ開発し、役員向けピッチコンテストを実施しました。  
年齢や勤務地が異なる社員が一丸となり、契約管理アプリ、アサインマッチングアプリなどを開発しました。

## ■ ピッチコンテストの様子



作成物は、社内利用や外販商材に活用されます。



合宿後、AI活用拡大する自主グループもできました。

# M&Aの方針

- 中期経営計画BBS2026では、2025/3期～2027/3期でM&A投資130億円を計画している
- 2025/12現在で進捗なし

## ■ M&Aの方針

### サービスラインナップの拡大

生産管理システム、販売管理システムなど会計周辺業務ソリューションの拡大によるシナジー効果の獲得

### 事業領域の拡大

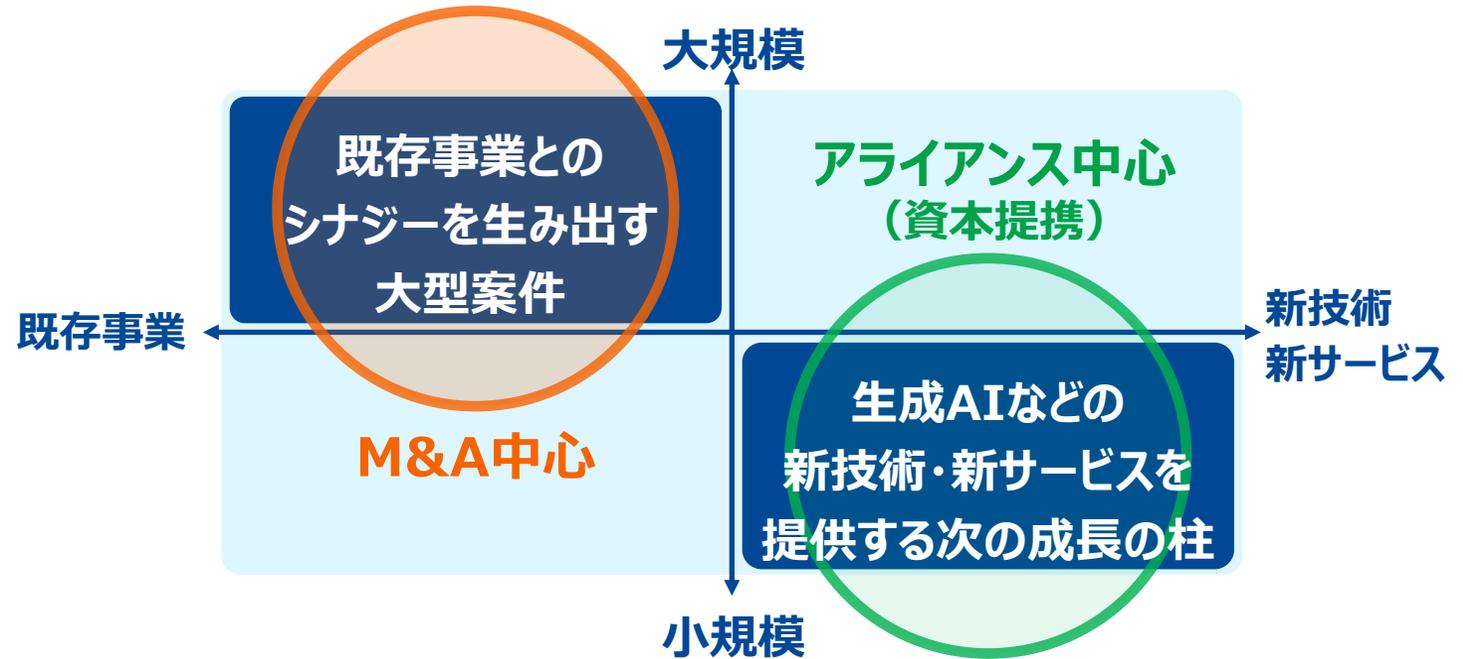
クラウド等インフラ技術の取得により現在のアプリケーション中心の事業領域を拡大しシナジー効果の獲得

### 販路拡大

製造業、建設業を中心とした新規顧客の獲得や九州・中国地方における営業基盤の拡大

### リソースの増強

コンサルタント、システムエンジニア、BPOオペレーターなどリソースの獲得



# M&A実績

BBSグループは、M&Aにより成長・事業拡大を果たしてきた実績があり、今後もさらに加速していく

## ■ M&A実績 グループ会社13社中 7社が買収により取得

買収年月	子会社名
1997年11月	(株)ファイナンシャルブレインシステムズを設立し、(株)三洋ソフトウェアサービスから営業の譲受
2002年4月	(株)イー・ワイ・アウトソーシングサービス (現 (株)E Pコンサルティングサービス) に資本参加
2014年9月	(株)テクノウェアシンク 取得
2016年2月	(株)B B Sアウトソーシングサービス 取得 (BBSに吸収合併)
2018年12月	日本ペイメント・テクノロジー(株) 取得 (BBSに吸収合併)
2021年8月	(株)ジョイワークス 取得
2022年4月	(株)B S C 取得
2023年11月	(株)フレスコ 取得
2024年1月	(株)トゥインクル 取得

2025年度

# 第3四半期ハイライト

4

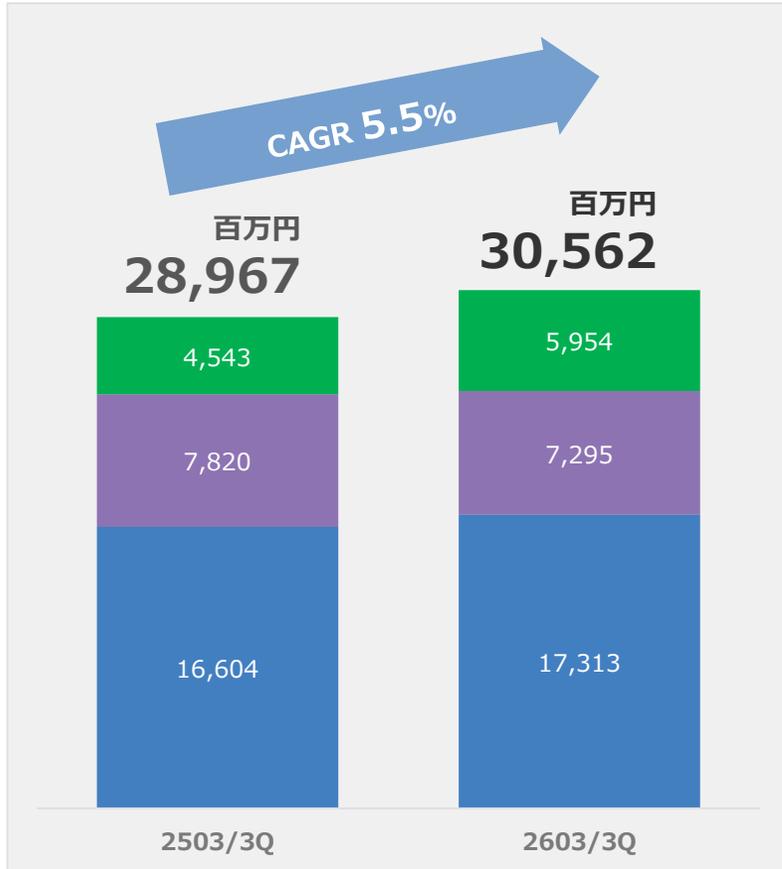


# 2025年度 第3四半期ハイライト

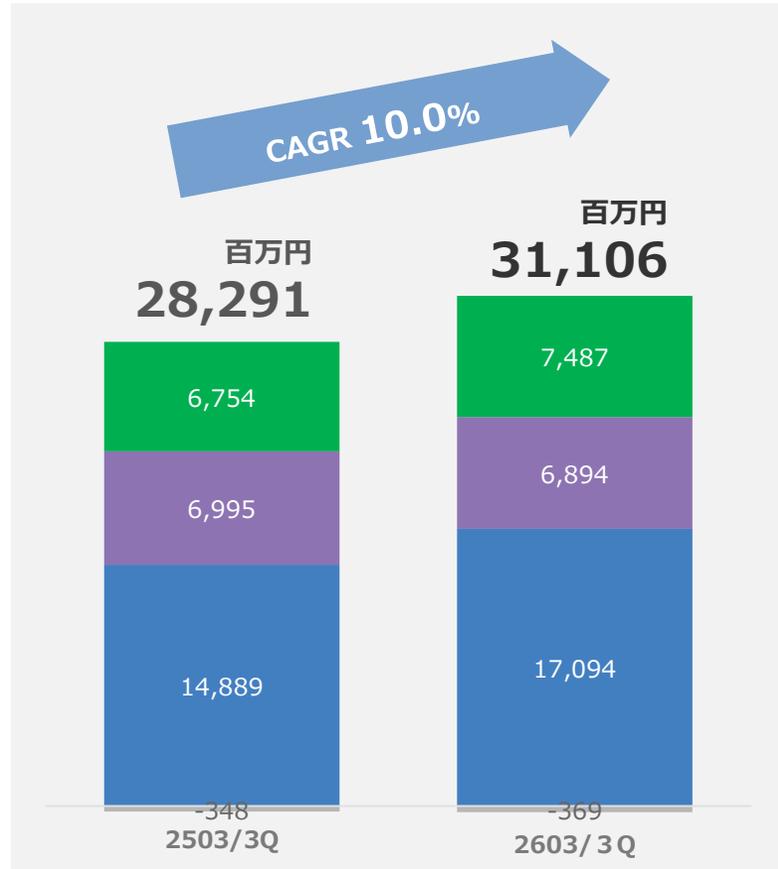
- 前年（特に第1四半期）不振の反動により、各項目とも前年同期を大幅に上回る実績を達成

- コンサルティング・システム開発
- SES共創ビジネス
- BPO&マネージドサービス
- 調整額

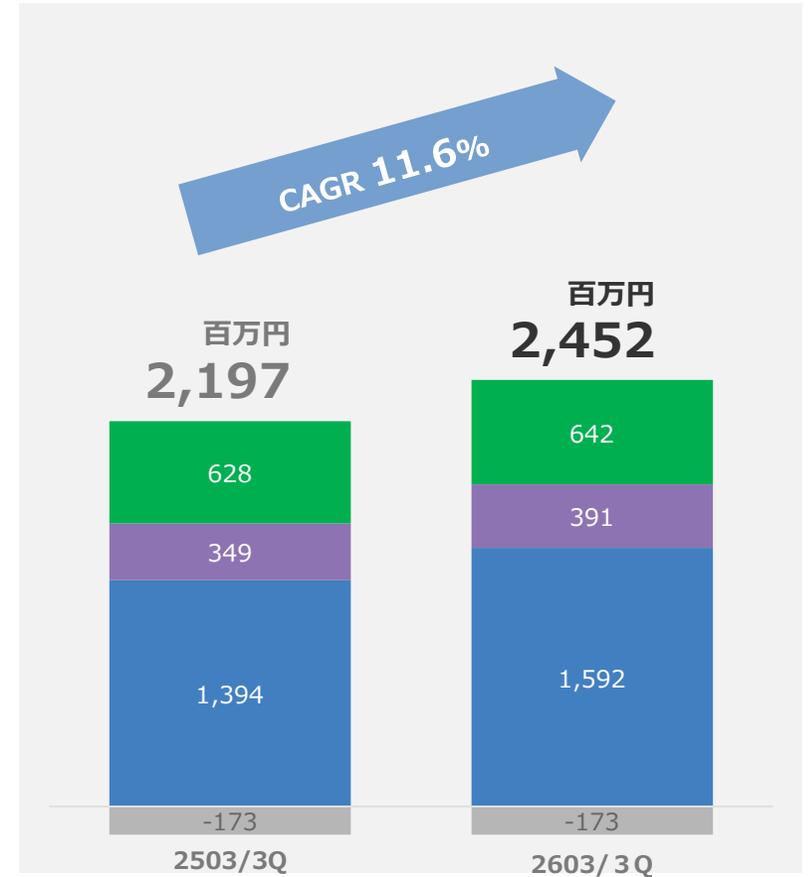
## ■ 受注高



## ■ 売上収益



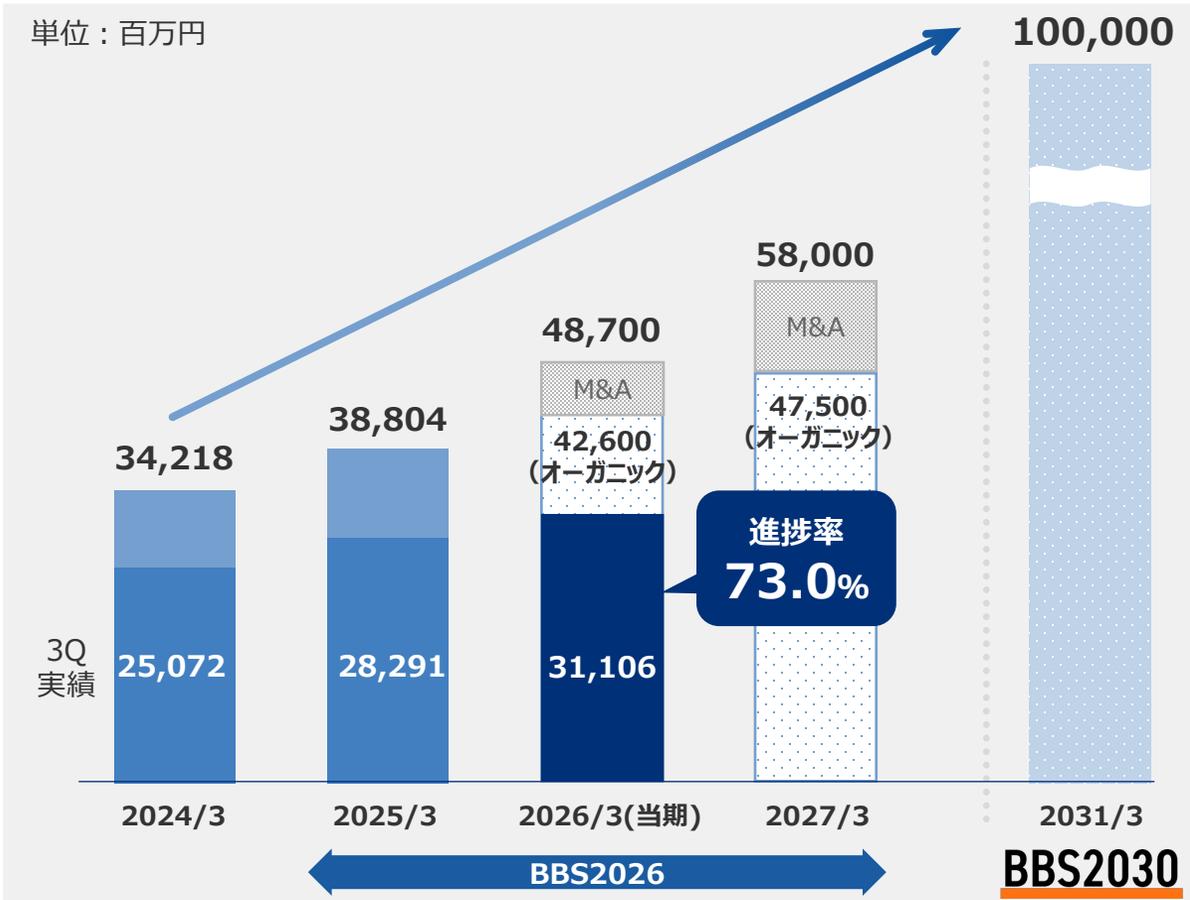
## ■ 事業利益



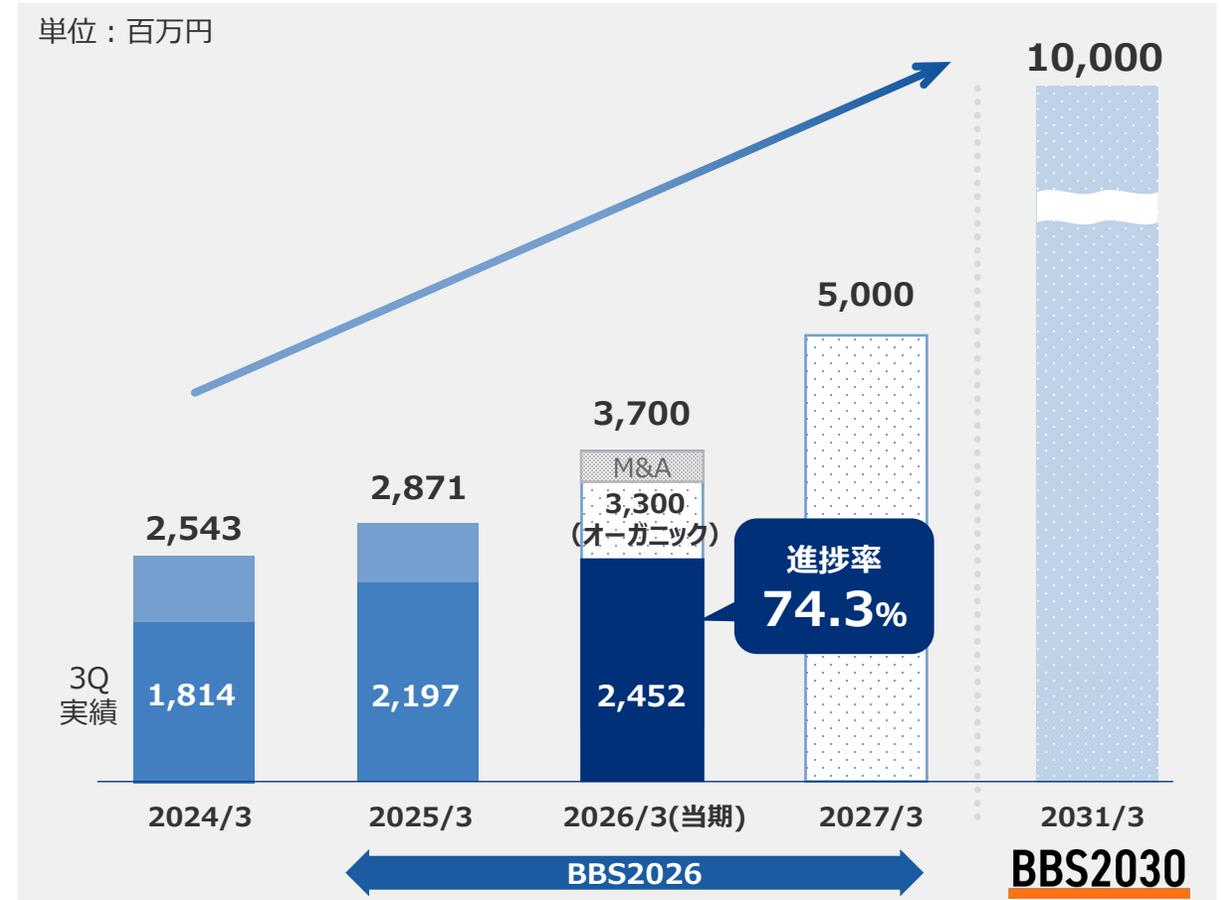
# 業績進捗 (2025年第3四半期)

- 2026年3月期は中期経営計画「BBS2026」の2年目に該当
- 季節変動要素を勘案すると、概ね順調な進捗である

## ■ 売上収益



## ■ 事業利益



# 貸借対照表 資産

(百万円)	2025年3月	2025年12月	増減	増減率	主な増減コメント
<b>流動資産</b>	<b>18,251</b>	<b>19,099</b>	<b>848</b>	<b>4.6%</b>	
現金及び現金同等物	9,908	10,223	315	3.2%	
営業債権及びその他の債権	5,093	4,522	-571	-11.2%	
契約資産	1,911	2,946	1,035	54.2%	
その他の金融資産	316	318	2	0.6%	
その他の流動資産	1,023	1,090	67	6.5%	
<b>非流動資産</b>	<b>27,071</b>	<b>27,767</b>	<b>696</b>	<b>2.6%</b>	
有形固定資産	625	593	-32	-5.1%	
使用権資産	2,628	3,467	① 839	31.9%	① 静岡支店、OS事業部、神田iCの移転に伴う新規賃貸借契約締結による増加他
のれん	2,098	2,098	0	0.0%	
無形資産	1,091	1,085	-6	-0.5%	
持分法投資	17,073	17,332	259	1.5%	
その他の金融資産	2,909	2,503	② -406	-14.0%	② 投資有価証券（純投資目的での保有株式）の売却他
その他の非流動資産	647	689	42	6.5%	
<b>資産合計</b>	<b>45,322</b>	<b>46,866</b>	<b>1,544</b>	<b>3.4%</b>	

# 貸借対照表 負債・資本

(百万円)	2025年3月	2025年12月	増減	増減率	主な増減コメント
<b>流動負債</b>	<b>7,940</b>	<b>8,104</b>	<b>164</b>	<b>2.1%</b>	① 静岡支店、OS事業部、神田iCの移転に伴う新規賃貸借契約締結による増加他
リース負債	808	747	-61	-7.5%	
営業債務及びその他の債務	2,116	2,389	273	12.9%	
その他の流動負債	5,016	4,968	-48	-1.0%	
<b>非流動負債</b>	<b>7,770</b>	<b>8,628</b>	<b>858</b>	<b>11.0%</b>	
リース負債	1,884	2,780	① 896	47.6%	
引当金	513	577	64	12.5%	
繰延税金負債	4,224	4,183	-41	-1.0%	
その他の非流動負債	1,149	1,088	-61	-5.3%	
<b>負債合計</b>	<b>15,710</b>	<b>16,732</b>	<b>1,022</b>	<b>6.5%</b>	
親会社の所有者に帰属する持分	29,138	29,648	510	1.8%	
非支配持分	474	486	12	2.5%	
資本合計	29,612	30,134	522	1.8%	
<b>負債及び資本合計</b>	<b>45,322</b>	<b>46,866</b>	<b>1,544</b>	<b>3.4%</b>	

# 業績予想

- 通期見通しに変更なし

	2026/3 3Q実績	2026/3 通期見通し	進捗率	2025/3実績
受注高	30,562	44,000	69.5%	40,377
売上収益	31,106	42,600	73.0%	38,804
事業利益	2,452	3,300	74.3%	2,871
事業利益率	7.9%	7.7%	—	7.4%
税引前利益	3,111	3,970	78.4%	3,352
当期利益	2,083	2,600	80.1%	2,510
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,055	2,560	80.3%	2,469
親会社所有者 帰属持分当期利益率	6.6%	6.0%	—	6.4%



ご清聴ありがとうございました。

Together for Value



株式会社ビジネスブレイン太田昭和